

GREEN HOUSE

ポータブル
ブルーレイディスク™プレーヤー

取扱説明書

GH-PBD11B シリーズ



はじめに

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。

(1 ページ)



本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願ひ」、「ディスクについて」、「各部のなまえ」をよく読みます。

(3 ~ 23 ページ)



準備を行います。

(24 ~ 28 ページ)



本製品の電源をオンにします。

(26 ページ)

製品構成の確認

パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。

●製品本体	1 台
●専用リモコン	1 個
●専用 AV ケーブル	1 本
●専用 AC アダプタ	1 個
●専用シガーソケットアダプタ	1 個
●専用リモコン用単 4 形乾電池	2 本
●取扱説明書	1 部
●保証書	1 部

●付属のリモコン用単 4 形電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

付属品のお買い求めは『グリーンハウスストア』をご確認ください。
グリーンハウスストア ホームページ
<https://www.greenhouse-store.jp/>

目次

はじめに	1
設置の手順	1
製品構成の確認	1
安全上のご注意	3
安全に正しくご使用いただくために	3
使用上のお願い	12
末永くお使いいただくために	12
ディスクについて	15
使用できるディスク	15
ディスクに表示されているマークについて	17
リージョンコード (地域番号)	18
著作権について	18
ライセンスについて	18
ディスクの内容の区分	19
各部のなまえ	20
各部名称	20
準備	24
ディスクトレイカバーを開く	24
専用 AC アダプタ接続	25
リモコンを準備する	26
電源操作	26
液晶画面を回転させる	27
動作モードを切り替える	28
再生 (基本編)	29
ディスクを再生する (基本編)	29
再生 (応用編)	32
ディスクを再生する (応用編)	32
再生 (便利な再生機能編)	33
ディスクを再生する (便利な再生機能編)	33
外部メモリーを使用する	37
使用できる外部メモリー	37
SDカードを取り付ける	38
USBメモリーを取り付ける	39
メディアセンター	40
メディアセンターを使用する	40
外部端子接続	45
テレビに出力する	45
イヤホンやヘッドホンを使用する	46
音声を出力する	46
映像を入力する	47
本体設定	48
設定メニューの操作	48
BD-LIVE 機能について	54
ラストメモリー機能について	55
トラブルシューティング	56
故障かな?と思ったら	56
その他	59
仕様	59
故障について	60


安全上のご注意


安全に正しくご使用いただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外して、使用を中止してください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外して、使用を中止してください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外して、使用を中止してください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外して、使用を中止してください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外して、使用を中止してください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外して、使用を中止してください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。



警告 使用について



禁止

AC アダプタは、必ず付属の専用品を使用してください。
火災や感電の危険があります。



禁止

AC アダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。



警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

ACアダプタのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで使用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



DC12V以外
使用禁止

シガーソケットアダプタは、自動車(マイナースアース車に限る)用12ボルト直流電源(DC12V)のシガーソケットにしっかり差し込んで使用してください。
自動車用12ボルト直流電源以外でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



エンジン始動後
に接続

シガーソケットアダプタは、エンジン始動後に接続してください。
エンジン始動時、瞬間的に発生する可能性のある高電圧や大電流(サージ電流)により、故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定期的に
プラグを掃除

ACアダプタのプラグは、定期的に掃除を行ってください。
ACアダプタのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的にACアダプタのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



警告 電源について



コンセントから
プラグを抜く

ACアダプタのプラグのお手入れは、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外して行ってください。

ACアダプタのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

ACアダプタのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。



破損コード
使用禁止

ACアダプタのコードに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。
破損したACアダプタから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。



落雷時は
プラグを抜く

落雷のおそれがある場合、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手でACアダプタのプラグやコンセントに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントを使用しないでください。
コンセントにACアダプタのプラグをしっかりと差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コード引っ張り
禁止

ACアダプタのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。
コードを引っばると、ACアダプタのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



警告 設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



水滴れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水滴れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

運転者の視界や運転操作の妨げになる場所、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。
事故の危険があります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所や、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないでください。
感電やケガの危険があります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に
取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

破損や変形、補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディ
スクには触れないでください。



禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
また、運転中は製品を使用しないでください。
事故の危険があります。



禁止

運転中は使用しないでください。
事故の危険があります。



警告 使用について



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



注意

航空機内での使用は、航空会社の指示に従ってください。
事故の危険があります。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池を使用してください。
指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れてください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。
誤飲や窒息の危険があります。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間使用しないときは、ACアダプタのプラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量で使用してください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



適度な音量で
使用する

イヤホンやヘッドホンは、適度な音量で使用してください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続で使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。



ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。



禁止

外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、ディスクや外部メモリーを取り出し、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| LCD | ディスクドライブ | ACアダプタ | ディスプレイ開閉部 (ヒンジ) | ピックアップユニット部 | 内蔵バッテリー)

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ピックアップレンズにゴミやホコリが付着すると再生不良の原因となりますので、その場合は市販のレンズクリーナーを使用してください。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。

結露 (つゆつき) について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
- レコーダーやパソコンなどで録画したDVDディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
- レコーダーやパソコンなどによってDVDディスクのファイナライズを実行しても、再生できない場合があります。
- ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
- 保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
- 信号面（光っている面）には手を触れないでください。
- ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
- ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
- 印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
- 正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。
- 本体の傾きや振動によりディスクにキズが付く可能性がありますので、ディスクの再生時は本体を安定した場所に設置してください。

外部メモリの取り扱いについて

- 外部メモリに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能な外部メモリであっても、再生できない場合があります。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

- 対応する再生可能なファイル形式であっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、ジャケットに記載されています。

ディスク	マーク	内容
BD ディスク BD-ROM		・ 12cm ・ リージョンコードが A や ABC ・ 映像方式：NTSC
BD-R / BD-RE BD-R DL / BD-RE		・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD ディスク DVD-ROM	 	・ 12cm / 8cm ・ リージョンコードが 2 や ALL ・ 映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL	 	・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW DVD+R DL	 	・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
CD CD-ROM		・ 12cm / 8cm ※DTS-CD は再生できません。
CD-R CD-RW	 	・ 12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作成方法やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されているディスクによっては再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョン番号が「A」や「ABC」以外のブルーレイディスク
- リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVDビデオディスク
- DVD オーディオ、SACD、DVD-RAM、DTS-CD など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
- フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど

記録形ディスクの再生について

- 記録形ディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
- レコーダーやパソコンによって、ファイナライズを実行しても、本製品で再生できない場合があります。



著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

- 著作権保護機能「CPRM」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について

- 複製制限機能 (コピーコントロール機能) のついたオーディオCDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

- 本取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。ブルーレイ/DVDビデオディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあるため、操作したとおりに動作しないことがあります。
- ボタン操作中にテレビ画面に  と表示されることがあります。 と表示されたときは、本製品がディスクがその操作に対応していません。

ディスクに表示されるマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声が収録されています)
	記録されている字幕の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています)
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 (左の例は、3種類の角度で収録されています)
	横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード (地域番号)

リージョンコードについて

- 本製品とブルーレイディスク、DVD ディスクには、それぞれ発売地域ごとにリージョンコード (地域番号) が設定されており、お互いのリージョンコード (地域番号) が一致しない場合、再生することができません。

ブルーレイディスク : 地域番号 (リージョンコード) は "A" です



DVD ビデオディスク : 地域番号 (リージョンコード) は "2" です



本製品で再生できる各ディスクのリージョンコードについて

- ご使用になるディスクにリージョンコード (地域番号) が設定されている場合、ディスクやパッケージに以下のリージョンマークが記載されていないと、本製品では再生することができません。



著作権について

- コンテンツの複製は私的使用のための複製に限られ、個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することができません。
- コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。

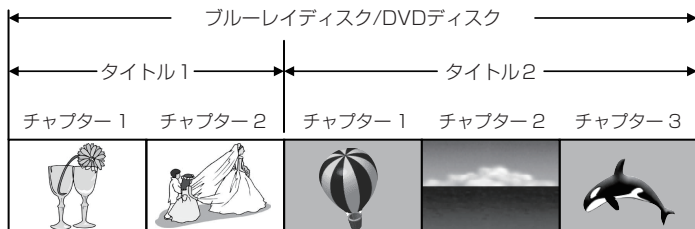
ライセンスについて

- 本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術 (マクロビジョン方式) を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.
- Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Java and all other Java trademarks and logo are registered trademarks of Sun Microsystems, Inc.

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

ブルーレイディスクと DVD ディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



CDは、「トラック」で区切られています。



タイトル : ブルーレイディスクと DVD ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック : CDの内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号が割り当てられています
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

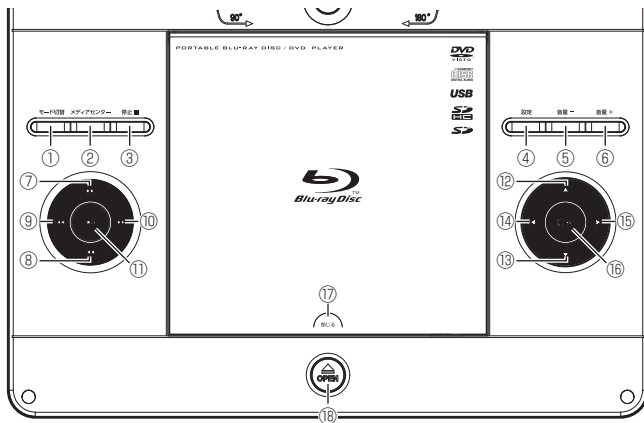
●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。










各部のなまえ

各部名称

本体とリモコンの各部名称を紹介します。

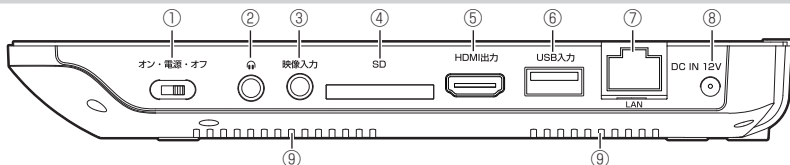
上面図












①		動作モードを切り替えます
②		メディアセンター(外部メモリのファイル選択画面)を表示します
③		再生を停止します
④		設定メニューを開きます(設定メニュー表示中は閉じます)
⑤		音量を下げます
⑥		音量を上げます
⑦		早送り再生をします
⑧		早戻し再生をします
⑨		前のチャプターへ移動します

⑩		次のチャプターへ移動します
⑪		再生/一時停止をします
⑫		カーソルを上に移動します
⑬		カーソルを下に移動します
⑭		カーソルを左に移動します
⑮		カーソルを右に移動します
⑯		項目の決定をします
⑰		ディスクトレイカバーを閉じます
⑱		ディスクトレイカバーを開きます

右側面部




①	オン・電源・オフ 	主電源のオン/オフを切り替えます
②		イヤホンやヘッドホンを接続します
③	映像入力 	映像入力時に専用AVケーブルを接続します
④	SD 	SDメモリーカードを挿入します
⑤	HDMI出力 	HDMIケーブルを接続します

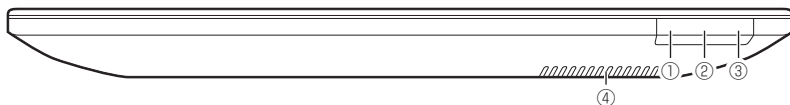
⑥	USB入力 	USBメモリーを挿入します
⑦	LAN 	LANケーブルを接続します
⑧	DC IN 12V 	専用ACアダプタや専用シガーソケットアダプタを接続します
⑨		排気口ですので、動作時に塞がないでください。

左側面部




①		排気口ですので、動作時に塞がないでください。
---	--	------------------------

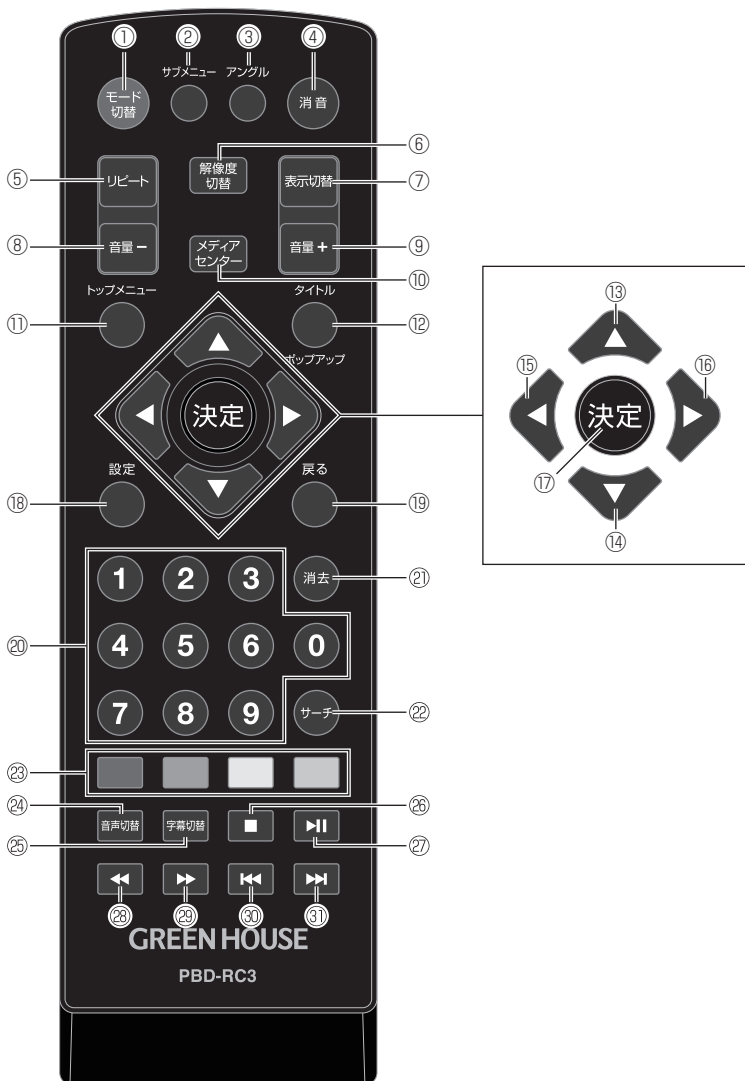
前面部


















①	リモコン受光部	リモコンからの操作を受信します
②	充電LED (赤色)	充電時に点灯します

③	電源LED (青色)	電源オン時に点灯します
④		排気口ですので、動作時に塞がないでください。

リモコン



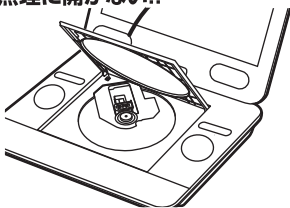
①		動作モードを切り替えます
②		サブメニューを表示します チャンネルリストを表示します
③		アングルを切り替えます
④		音声をミュート(消音)にします
⑤		リピート再生をします
⑥		画面解像度を切り替えます
⑦		情報の表示を切り替えます
⑧		音量を下げます
⑨		音量を上げます
⑩		メディアセンター(外部メモリのファイル選択画面)を表示します
⑪		トップメニューを表示します チャンネルスキャンを行います
⑫		タイトルメニュー/ポップアップメニューを表示します 番組表を表示します
⑬		カーソルを上に移動します チャンネルを1つ送ります
⑭		カーソルを下に移動します チャンネルを1つ戻します
⑮		カーソルを左移動します
⑯		カーソルを右移動します

⑰		項目の決定をします
⑱		設定メニューを開きます (設定メニュー表示中は閉じます)
⑲		前の項目に戻ります
⑳		チャプターやチャンネルの選択を行う際の数字入力に使用します
㉑		入力した数字を消去します
㉒		サーチ再生をします
㉓		チャプターのブックマーク登録/削除/一覧表示/ズーム表示を行います(対応する色はディスクにより異なります)
㉔		音声を切り替えます
㉕		字幕を切り替えます
㉖		再生を停止します
㉗		ファイルを再生/一時停止します
㉘		早戻し再生をします
㉙		早送り再生をします
㉚		前のチャプターへ移動します
㉛		次のチャプターへ移動します

●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。

ディスクトレイカバーを開く

無理に開かない!!



ディスクをセットする際は、を操作し、ディスクトレイカバーが自動的に開いた状態で行なってください。

自動的に開いた角度以上にディスクトレイカバーを開くと、故障したり、ディスクトレイカバーが破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ディスクトレイカバーは、50度以上開きません。

フラットケーブルに
触らない!!



ピックアップレンズに
触らない!!

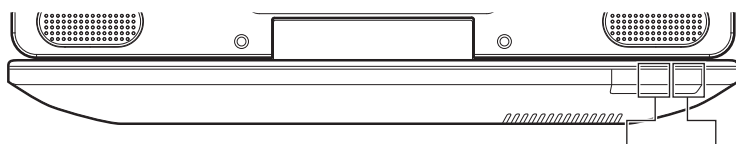
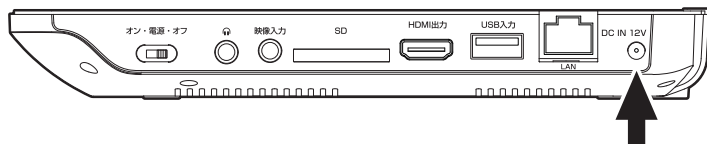
ピックアップレンズにより、ディスクに記録されたデータを読み取り、フラットケーブルにより、読み取ったデータをやり取りしていますので、ピックアップレンズやフラットケーブルには触れないでください。

ピックアップレンズやフラットケーブルに触れると、故障したり、破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ピックアップレンズにチリやホコリが付着した場合は、市販のレンズクリーナーを使用してください。

専用 AC アダプタ接続

左側面の DC IN 12V に付属の専用ACアダプタや専用シガーソケットアダプタを接続します。
LEDの状態は以下の表の通りになります。



電源LED (青色)	電源オン	点灯	充電LED (赤色)	電源LED (青色)
	電源オフ	消灯		
充電LED (赤色)	充電中	点灯		
	充電完了	消灯		

●電源をオンにした状態で充電をすると、電源をオフにして充電した場合より充電時間が長くなります。

●内蔵バッテリーは繰り返しの充放電により消耗しますが、交換はできません。

リモコンを準備する

リモコンに電池を挿入します。

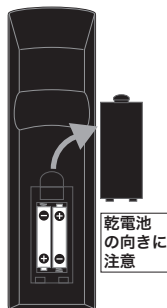
以下の手順に従って、付属の単 4 形乾電池を専用リモコンに挿入してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコン用電池の交換方法



矢印のツメを押し
て、電池カバーを押し
上げる。




+ 極、- 極の向きを
確認し、正しい向き
に単 4 形乾電池 2
本を入れる。



電池カバーがカチッ
と音がするまで押し
て閉める。

電源操作

オン・電源・オフ

右側面の  をオン側に動かすと、電源がオンになり「GREEN HOUSE」画面が表示されます。オフ側に動かすと、電源がオフになります。

- 電源スイッチをオンにしても電源LEDが点灯しない場合、バッテリー残量がありませんので、専用ACアダプタを接続して、充電をしてください。
- 使用状態により異なりますが、満充電状態から約3時間ブルーレイディスクを再生できます。

液晶画面を回転させる

液晶画面が左に 90 度、右に 180 度回転でき、環境に合わせてスタイルを変更して視聴できます。

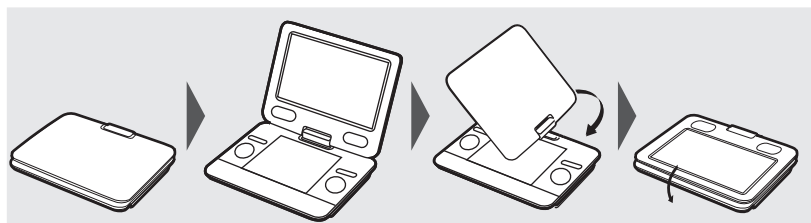
液晶画面を回転する際は、液晶画面を垂直に起こし、右回りは 180 度、左回りは 90 度を限度に行ってください。

液晶画面の回転する限度を超えたり、液晶画面を起こさなかったり、斜めに起こした状態で回転すると、破損したり、発熱、発火する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。



- 液晶画面を回転させる場合は本体を押さえ、指などを挟まないように注意してください。

右に回転させるとコンパクトに視聴できます。



※：液晶画面は水平に回転させてください。傾けたり、折りたたんだ状態で回転させると本体に傷が付く場合があります。

動作モードを切り替える

各動作モードの切り替え方法を紹介します。

「GREEN HOUSE」画面でリモコンの  ボタンか本体の  ボタンを押すと、[BD]
[AV IN] に動作モードが切り替わります。

BD . . . ブルーレイディスク、DVDディスク、CDなどを再生します

AV IN . . .  に接続した映像機器の映像を表示します。

再生（基本編）


ディスクを再生する（基本操作編）

ディスクの基本操作を紹介します。

- インタラクティブ機能が使用されたブルーレイディスクやBD-Jディスクでは解説の通り動作しない場合があります。
- レコーダーなどで録画したディスクは使用できない場合があります。
- DVDビデオディスクの種類によっては使用できない場合があります。
- 再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れしないでください。
- ディスクトレイカバーを上から強く押さないでください。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイカバーを開けます

液晶画面を開き、本体上面の  ボタンを押してディスクトレイカバーを開けます。

2. ディスクを入れます



再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がするまでしっかりとはめこみます。

3. ディスクトレイカバーを閉めます

開いたカバーの  をカチッと音がするまで下に押すと、ディスクを自動的に再生します。

再生を停止する

リモコンの  ボタンを押すと、再生が停止し「GREEN HOUSE」ロゴ画面になります。

リモコンの  ボタンを1度押した場合は、画面左上に  マークが表示され停止位置が記憶されますが、ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

- インタラクティブ機能が使用されたブルーレイディスクやBD-Jディスクでは停止位置は記憶されません。

一時停止する

再生中にリモコンの **⏸** ボタンを 1 度押すと一時停止できます。
通常再生に戻るにはもう 1 度 **⏸** ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの **⏮** ボタンを続けて 2 回押します。

リモコンの **⏸** ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの **⏭** / **⏮** ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。



⏭ ボタンを押すごとに早送りスピードが 2x ~ 32x で変化します。


⏮ ボタンを押すごとに早戻しスピードが 2x ~ 32x で変化します。


通常再生に戻るには、32x の状態でもう一度 **⏭** / **⏮** ボタンを押すか、**⏸** ボタンを押します。

●ディスクによっては、ボタンを押してから動作するまで時間がかかる場合があります。



前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの  /  ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。




 ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

 ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

音量調整する


再生中にリモコンの  /  ボタンを押すと「0」～「20」の間で音量調整できます。


消音する


リモコンの  ボタンを押すと、画面左下に「」と表示され消音状態になり、内蔵スピーカーとヘッドホンから音が聞こえなくなります。
消音状態を解除するには、もう 1 度  ボタンを押してください。

メニュー / タイトル画面を表示する

メニュー画面やタイトル画面が記録されているディスクでは、各画面からチャプターを選んで再生や、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの  ボタンを押すと、ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンの  ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの  ボタンを押すと選択した項目が表示されます。

再生（応用編）

ディスクを再生する（応用編）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声記録されているディスクは、音声の切り替えができます。

※例：ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの **音声切替** ボタンを押すごとに音声切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声切り替える場合があります。
- 1つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。

字幕を切り替える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

また、複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの **字幕切替** ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕切り替える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、1つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

再生（便利な再生機能編）

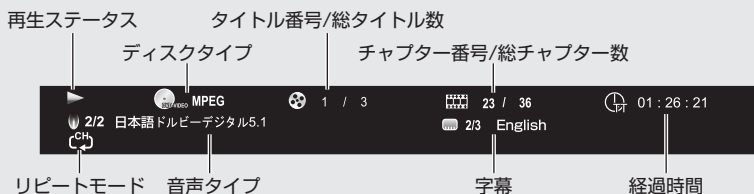
ディスクを再生する（便利な再生機能編）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

ディスク情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの **表示切替** ボタンを押すと下のように画面に表示されます。








もう1度 **表示切替** ボタンを押すと非表示になります。

●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

リピート再生する

お好みの「チャプター」「タイトル」「トラック」「ディスク」をリピートして再生できます。

リモコンの  ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。


-  **チャプター** . . . 現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。
-  **タイトル** . . . 現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。
-  **オール** . . . 現在のディスクを繰り返し再生し、ディスクの最後まで再生すると、ディスクの先頭から再生が始まります。
(CD再生、DVD-VR再生、DVD-VIDEO再生時のみ)
-  **トラック** . . . 現在のトラックを繰り返し再生し、トラックの最後まで再生すると、トラックの先頭から再生が始まります。
(CD再生時のみ)
- (非表示) . . . 通常再生に戻ります。

●ディスクによってはリピート再生できない場合があります。

サーチ再生する






■DVDの場合

チャプターを指定して、頭出し再生ができます。

再生中にリモコンの  ボタンを押すと、指定したチャプター番号から頭出し再生ができます。

■ブルーレイディスク再生の場合

ディスク情報画面から、チャプター番号や経過時間を指定することにより、チャプター番号、経過時間から頭出し再生ができます。

再生中に表示切替ボタンを押し、ディスク情報画面を表示した状態で、 ボタンを押します。カーソルが表示されるので、チャプター番号か経過時間にカーソルを合わせて  ボタンを押し、 ボタンか  /  ボタンで頭出し再生ができます。

●ディスクによっては、サーチ再生できない場合があります。

30秒送りする


再生中に約30秒間の早送りをします。

再生中に、リモコンの ^{サブメニュー}  ボタンを押して、30秒早送りにカーソルを合わせて、 ボタンを押すと、約30秒間の早送りをします。

- ディスクによっては、30秒送り再生できない場合があります。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

再生中に、リモコンの ^{アングル}  ボタンを押すと、アングルの切り替えができます。

- ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える必要があります。
- 1つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

ズーム再生する



再生中にリモコンの  ボタンを押すと表示を拡大した再生できます。

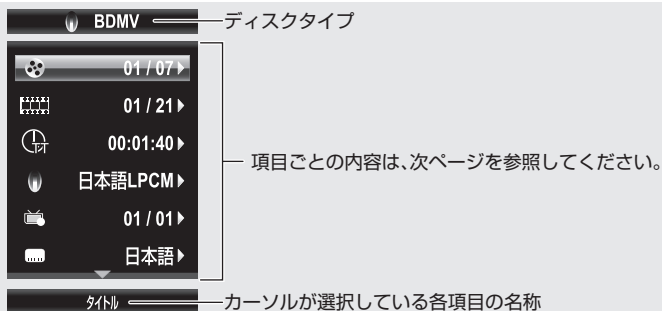
「2×」「3×」「4×」「1/2」「1/3」「1/4」が選択できます。

拡大再生中は  ボタンで表示位置を移動できます。


















- ディスクにより、動作が異なることがあります。

OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する

再生中にリモコンの ^{サブメニュー}  ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。
カーソルボタンで項目を移動し、 ボタンで変更できます。



各項目の詳細は、以下のとおりです。

アイコン	項目名	内容
	ファイル	ファイルと総ファイル数(動画、音楽、画像ファイルのみ)
	タイトル/トラック	タイトルまたはトラックと総タイトル数または総トラック数
	チャプター	チャプター / 総チャプター数
	時間	経過時間
	モード/プレイモード	再生モードが選択できます。
	切替スピード	画像ファイルの表示スピードを選択できます。(画像ファイルのみ)
	切替効果	画像ファイルのスライドショー効果を選択できます。(画像ファイルのみ)
	音声	音声の選択ができます。
	アングル	アングルの選択ができます。
	字幕	字幕の選択ができます。
	字幕スタイル	字幕スタイルを選択できます。
	二画面表示	第2映像を選択できます。
	副音声	第2音声を選択できます。
	ビットレート	再生中の音声/映像のビットレートを表示します。
	静止解除	特定の場面で停止するようプログラムされているディスクで、静止画を解除して再生を続けるときに選びます。通常は使用しません。
	30秒送り	30秒先まで早送りします。
	10秒戻し	10秒戻しの選択ができます。

●ディスクに記録されていない項目は切り替えできません。

外部メモリーを使用する

使用できる外部メモリー

以下の外部メモリーに対応しています。

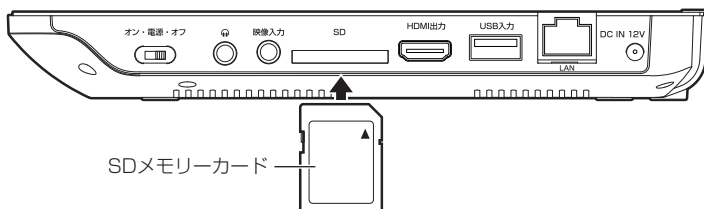
- ・ SDメモリーカード
- ・ SDHCメモリーカード
- ・ USB メモリー

- すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
- FAT や FAT32 でフォーマットされた外部メモリーのみ使用できます。
その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしておりません。
- miniSDカード[®]、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。
- MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしておりません。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



SDカードを取り付ける

SDカードスロットを使用して SDメモリーカードから画像・音楽・動画を再生する方法を紹介します。

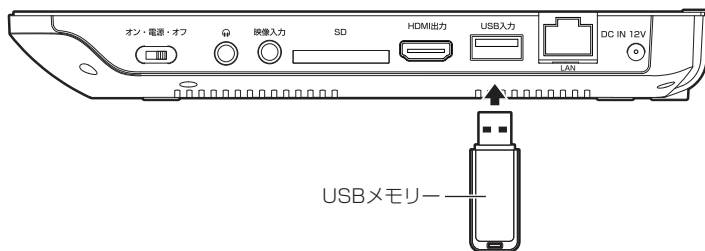


1. SDメモリーカードを差し込みます。
2. **メディアセンター** ボタンを押し、メディアセンターからSDメモリーカードのデータを読み込んでください。(P.40)

- SDメモリーカードは、読み込みをしてない時に取り外してください。
- 画像ファイル、音楽ファイル、動画ファイル再生中の場合は、本体の **電源** ボタンかリモコンの **■** ボタンを押し、再生を停止させてから SD メモリーカードを取り外してください。

USBメモリーを取り付ける

USBポートを使用してUSBメモリーから画像・音楽・動画を再生する方法を紹介します。



1. USBメモリーを差し込みます。
2. **メディアセンター** ボタンを押し、メディアセンターからUSBメモリーのデータを読み込んでください。(P.40)


- USBメモリーは、読み込みをしてない時に取り外してください。
- 画像ファイル、音楽ファイル、動画ファイル再生中の場合は、本体の **再生** ボタンかリモコンの **停止** ボタンを押し、再生を停止させてからUSBメモリーを取り外してください。
- 搭載されているUSBポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品や接続した機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

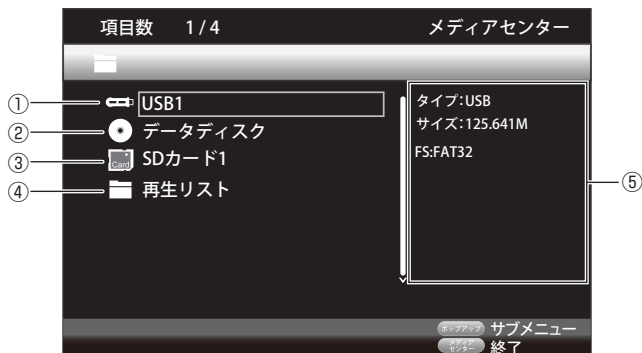
メディアセンター

メディアセンターを使用する

動画ファイル / 音楽ファイル / 画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法を紹介します。




メディアセンターを開く

USBメモリー、SDメモリーカード、データディスクを挿入し、「GREEN HOUSE」ロゴ画面が表示されている状態で、リモコンの  ボタンを押すと、下のような画面が表示されます。



- ① : USBメモリーのデータを読み込みます。
- ② : ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。
- ③ : SDメモリーカードのデータを読み込みます。
- ④ : 再生リストに登録されたファイルを表示します。
- ⑤ : カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。

■操作方法

-  : 項目やフォルダを確定して開きます。
-  : 項目やフォルダ、ファイルを選択します。
-  : 1 つ前のフォルダ階層に戻ります。

- 対応する形式であっても、すべてのファイル、すべての対応外部メモリーの動作保証をするものではありません。
- 一部の日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。
- ファイルや動作中のモードによって、一部の機能が使用できない場合があります。

再生するファイルの種類を選択する

USBメモリーやSDメモリーカード、データディスクを開くと下のように表示されます。












- ①：項目数番号/総項目数番号を表示します。
- ②：現在のフォルダ階層を表示します。
- ③：1つ前の階層に戻ります。
- ④：画像ファイルを表示します。
- ⑤：音楽ファイルを表示します。
- ⑥：動画ファイルを表示します。
- ⑦：AVCHDファイルを表示します。

●④～⑦は USBメモリーや SDメモリーカードに記録されているフォルダではなく、ファイルの種類を分類するために本製品が自動表示しています。画像ファイルよりフォルダ階層に入ると、画像ファイル以外は表示されません。

動画 / 音楽 / 画像ファイルを再生する

動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルを再生時の操作方法を紹介します。

	再生 / 一時停止を切り替えます。
	一回押すと再生を停止します。 (停止した位置が記憶されます) 2回押すと停止位置情報が消去され、メディアセンター画面に戻ります。
	早戻し再生 / 早送り再生を行います。
	前後のファイルに移動します。
	消音します。
	情報を表示します。
	シングルリピート / オールリピート / 通常再生を切り替えます。
サブメニュー 	OSC(オンスクリーンコントロール)機能が使用できます。 ※表示内容は「OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する」(P.35)を参照してください。
	音量の調整を行います。

画像ファイル再生中の操作

■画像ファイル再生中の OSC(オンスクリーンコントロール)機能

画像ファイル

03 / 05 — ファイル：画像番号 / 総画像数

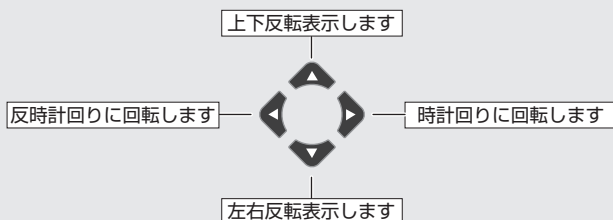
▶ ランダム — プレイモード：ノーマル / シャッフル / ランダム

中 — スライドショー：高速 / 中速 / 低速

ボックスア... — トランジション：なし / ワイプ左 / ワイプ右 / ワイプ上 / ワイプ下 / ボックスイン / ボックスアウト / クロスフェード / ディゾルブ / ブラインド縦 / ブラインド横 / センター上下 1 / センター左右 1 / センター上下 2 / センター左右 2

ファイル

■画像ファイル再生中の ボタンの動作



音楽ファイルを再生する

メディアセンター画面で音楽ファイルを選択してリモコンの **▶||** ボタンを押すと、下のような音楽ファイル再生画面に切り替わります。



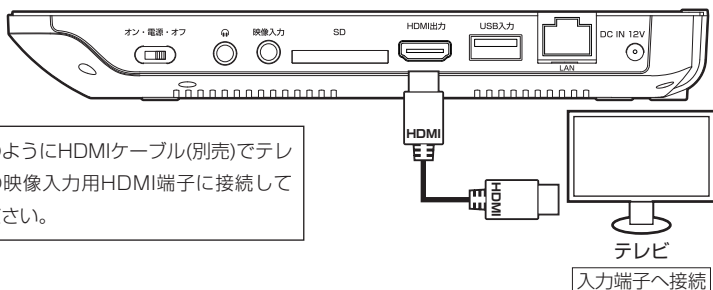
- 製品仕様以外の拡張子が表示される場合がありますが、動作の保証はいたしません。
- ファイル情報はUnicode(UTF-8形式またはUTF-16形式)に対応していますが、すべての文字には対応していません。

外部端子接続

テレビに出力する

HDMI出力端子を使用してテレビに出力する方法を紹介します。

■HDMI ケーブル (別売) で接続する

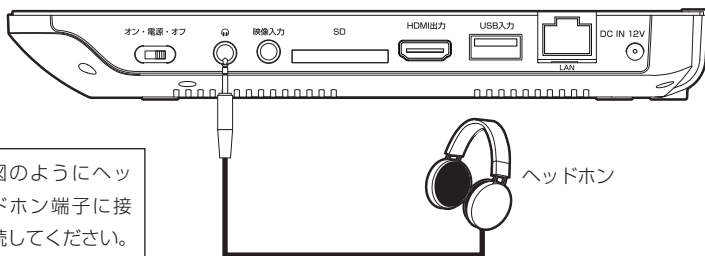


図のようにHDMIケーブル(別売)でテレビの映像入力用HDMI端子に接続してください。

- テレビ・映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- 音量調整は、テレビ・映像機器側の音量を調整してください。
- 地上デジタル放送やワンセグ放送の映像をテレビに出力することはできません。

イヤホンやヘッドホンを使用する

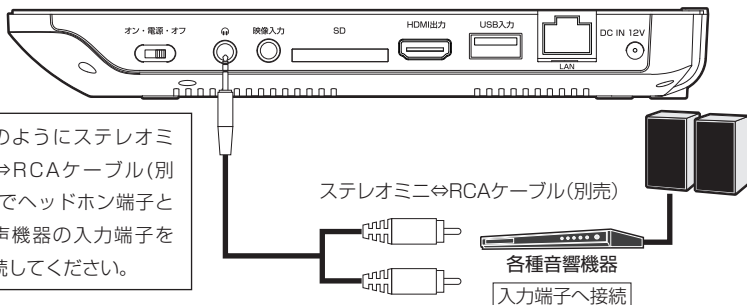
ヘッドホン端子を使用してイヤホンやヘッドホンで聞く方法をご紹介します。



- 音量を最小にしてから接続してください。

音声を出力する

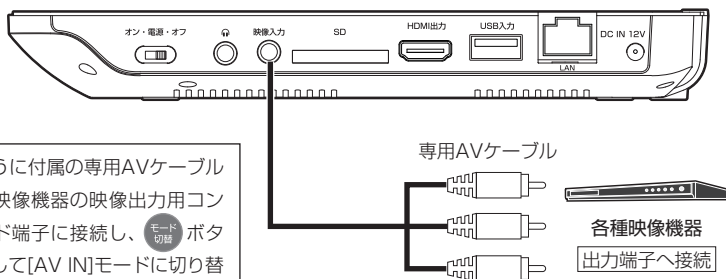
音声をアンプなどの音響機器へ出力する方法をご紹介します。



- 音量を最小にしてから接続してください。

映像を入力する

映像入力端子を使用して映像機器の映像を画面に表示する方法を紹介します。




図のように付属の専用AVケーブルで各種映像機器の映像出力用コネクタ端子に接続し、**モード切替** ボタンを押して[AV IN]モードに切り替えてください。(P.28)



- 映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面が表示されなかったり、画面の比率が乱れる場合があります。
- 音量調節は映像機器側で行なってください。
- すべての入力機器を動作保証するものではありません。

本体設定

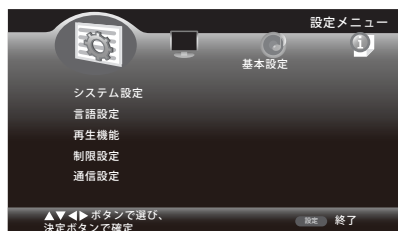
設定メニューの操作

本体の設定を変更する方法を紹介します。

ディスクを入れてない状態か再生停止中(「GREEN HOUSE」ロゴが表示されている時)に、リモコンの  ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。

リモコンの  ボタンで項目を選択し、 ボタンで確定します。

設定メニューには、以下の4つの項目があります。



基本設定 画面



映像設定 画面





音声設定 画面



システム情報 画面

各設定メニューの詳細項目は

リモコンの  ボタンで項目を選択し、 ボタンで確定します。

基本設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説	
基本設定	システム設定	HDMI 連動	オン	/	①	
			オフ●			
		BUDA	BUDA 情報	フォーマット	/	②
			BUDA 設定	USB/SD 内蔵●		
		簡単設定	/			③
		初期化	/			④
	アップデート	/			⑤	
	言語設定	画面表示	英語	/	/	⑥
			日本語●			
		ディスクメニュー	英語	/	/	⑦
			日本語●			
		音声	英語●	/	/	⑧
			日本語			
	字幕	英語	/	/	⑨	
		日本語●				
		オフ				
	再生機能	アングルマーク	オン	/	/	⑩
			オフ●			
		第2映像マーク	オン	/	/	⑪
			オフ●			
		第2音声マーク	オン	/	/	⑫
			オフ●			
	ラストメモリー	オン	/	/	⑬	
		オフ●				
	Audio Watermark Level3	オン●	/	/	⑭	
	制限設定	視聴制限	オフ	/	/	⑮
			レベル 1			
			レベル 2			
			レベル 3			
レベル 4						
レベル 5						
レベル 6						
レベル 7						
レベル 8 (無制限)●						
国 / 地域	日本●	/	/	⑯		
アメリカ	/					
通信設定	ネットワーク情報	/			⑰	
	接続テスト	/			⑱	
	IP アドレス設定	自動設定●	/		⑲	
		手動設定	(IP Input)	/		

※●印は工場出荷値の設定になります。

次のページへ

前のページから

- ① : ●本製品とテレビを HDMI ケーブルで接続することでテレビとの連動操作が可能になります。
●本製品の電源をオンすると HDMI 接続したテレビの電源が自動的に入り、テレビの入力が HDMI へ切り替わります。
●テレビの電源を切ると、本製品の動作も停止します。本製品の動作を再開させるためには、リモコンの「モード切替」ボタンで [Disc] を選択します。この状態でも内蔵バッテリーは消耗しますので、内蔵バッテリーの消耗を抑えたい場合は電源スイッチをオフにしてください。
●上記以外の連動動作については、一部の連動動作を行えますが、すべての動作を保証するものではありません。
●本設定は、テレビ側の HDMI 連動の設定も必要です。詳しい操作については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- ② : ●BD-LIVE などを使用する外部メモリー (USBメモリー、SDメモリーカード) の選択や、外部メモリー内に自動的に作られる「BUDA」フォルダ内のデータ消去や空き容量を確認できます。
●USBメモリーとSDメモリーカードを同時に挿した状態にしないでください。
●「内蔵」の状態では、BUDAは使用できません。BUDAを使用する場合は、「USB/SD」を選択してください。
- ③ : ●簡単設定 (「言語」「解像度」「アスペクト比」) をします。
- ④ : ●設定を工場出荷時の状態に戻します。
- ⑤ : ●通常は使用しません。
- ⑥ : ●画面表示言語を設定します。
- ⑦ : ●ディスクメニュー言語を設定します。
- ⑧ : ●ディスクの音声言語を設定します。ディスクによっては、ディスク側で決められている言語で再生されます。
- ⑨ : ●ディスクの字幕言語を設定します。ディスクによっては、ディスク側で決められている言語で再生されます。
- ⑩ : ●アングルマーク表示の「オン」「オフ」を設定します。機能に対応していないディスクでは使用できません。
- ⑪ : ●第2映像 (子画面) マークを表示します。機能に対応していないディスクでは使用できません。
- ⑫ : ●第2音声 (副音声) マークを表示します。機能に対応していないディスクでは使用できません。
- ⑬ : ●ラストメモリー機能の「オン」「オフ」を設定します。機能に対応していないディスクでは使用できません。
- ⑭ : ●通常は使用しません。
- ⑮ : ●視聴制限 (ペアレンタルコード) のレベルを設定します。変更にはパスワード [1719] を入力する必要があります。
- ⑯ : ●国 / 地域コードを変更します。
- ⑰ : ●インターフェイス、アドレスタイプ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS などのネットワーク情報を表示します。
- ⑱ : ●ネットワーク接続をテストし、状態を表示します。
- ⑲ : ●本製品や DNS サーバーの IP アドレスを自動または手動で設定します。
●IPアドレスと手動設定した場合、表示が反映されるまでに時間がかかります。表示の確認を行う場合は、約5秒間待ってから表示の確認をしてください。


■IPアドレス設定について

- IPアドレスを [自動] に設定すると、IPアドレスを自動取得しますが、手動で設定する場合は [手動] を選択し、下のような画面で設定を行います。


ネットワーク情報					
インターフェース	イーサネット				
アドレスタイプ	手動設定				
IP アドレス	<table><tr><td>0.</td><td>0.</td><td>0.</td><td>0</td></tr></table>	0.	0.	0.	0
0.	0.	0.	0		
サブネットマスク	<table><tr><td>0.</td><td>0.</td><td>0.</td><td>0</td></tr></table>	0.	0.	0.	0
0.	0.	0.	0		
ゲートウェイ	<table><tr><td>0.</td><td>0.</td><td>0.</td><td>0</td></tr></table>	0.	0.	0.	0
0.	0.	0.	0		
DNS1	<table><tr><td>0.</td><td>0.</td><td>0.</td><td>0</td></tr></table>	0.	0.	0.	0
0.	0.	0.	0		
DNS2	<table><tr><td>0.</td><td>0.</td><td>0.</td><td>0</td></tr></table>	0.	0.	0.	0
0.	0.	0.	0		

カーソル移動 :  /  ボタン

数値入力 :  ボタン

数値クリア :  ボタン

確定 :  ボタン

戻る :  ボタン

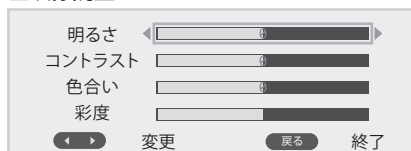
映像設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説	
映像設定	映像出力設定	アスペクト比	フル	/	㉑	
			ノーマル●			
		解像度	480i		/	㉑
			480p			
			720p			
			1080i●			
			1080p			
		色空間	RGB(リミテッド)●		/	㉒
			YPbPr(444)			
			YPbPr(422)			
		ディープカラー	RGB(フル)		/	㉓
			30ビット			
	36ビット					
	1080/24p 出力	48ビット	/	㉔		
		オフ●				
		オン				
	画質調整設定	画質調整	オフ●	/	㉕	
			明るさ			-16 ~ 0 ~ +16
コントラスト			-16 ~ 0 ~ +16			
色合い			-9 ~ 0 ~ +9			
シャープネス		彩度	-9 ~ 0 ~ +9	/	㉖	
		高				
		中●				
		低				

※●印は工場出荷値の設定になります。

- ㉑：●画面のアスペクト比を設定します。「フル」の場合は映像を画面に合わせてアスペクト比を変更し、「ノーマル」の場合はアスペクト比を保持します。
- ㉑：●解像度を設定します。
- ㉒：●色空間を設定します。
- ㉓：●ディープカラー対応のテレビとHDMI接続する場合に設定します。
- ㉔：●設定を「オン」にした場合、1080/24pに対応したテレビ、ディスク、HDMIケーブルが必要です。
- ㉕：●「明るさ」「コントラスト」「色合い」「彩度」を調整します。
- ㉖：●シャープネスのレベルを設定します。

■映像調整について



数値移動 : ◀/▶ ボタン

項目移動 : ◀/▶ ボタン

確定 : ●(決定) ボタン

戻る : ●(戻る) ボタン

音声設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説	
音声設定	音声出力設定	HDMI 音声出力	PCM●	/	㉗	
			オフ			
		DRC 設定	オフ●		/	㉘
			オン			
自動設定						

※●印は工場出荷値の設定になります。

㉗：●HDMI 端子からの音声出力の「オン」「オフ」を設定します。

㉘：●夜間など音量を下げた再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。

システム情報

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
システム情報	/				㉙

㉙：●ソフトウェアバージョンと MAC アドレスが表示されます。

BD-LIVE機能について

BD-LIVEとは？

BD-LIVE が収録されたディスクを使用すると、インターネットに接続して、最新映画の予告編や映画出演者のコメントなどを視聴できます。

■準備

- ①本製品を LAN ケーブル (別売) でネットワークに接続します。
- ②設定メニューの「通信設定」(P.49) を設定します。
- ③USBメモリーやSDメモリーカード(1GB以上)をUSBポートやSDカードスロットに挿入してください。

■視聴する

ブルーレイディスクのメニューにしたがって、BD-LIVE に接続してください。

外部メモリーについて

- 外部メモリーはコンピュータであらかじめFATかFAT32形式でフォーマットしてください。
- データの消去を防ぐため、BD-LIVE で使用する外部メモリーには他のデータをいれないでください。
- BD-LIVE のダウンロード先は外部メモリー内の [BUDA] フォルダになります。
- BD-LIVE 視聴中に外部メモリーを取り外さないでください。
- 弊社ではデータの消失などに関して一切の責任を負いません。
- USBメモリーとSDメモリーカードを同時に挿した状態にしないでください。

インターネット接続について

- インターネット回線状況によりダウンロードに数分かかる場合があります。
- ディスクによって BD-LIVE 機能が使用できない場合があります。
- 本製品は工場出荷値で IP アドレスを自動取得 (DHCP) する設定になっています。

ラストメモリー機能について

ラストメモリー機能とは？

ディスクの視聴を中断し、電源をオフにしても、再度その続きから再生することができる機能です。
※事前に「基本設定」 「再生機能」 で「ラストメモリー」の項目を [オン] に設定する必要があります。(P.49)

ラストメモリーの動作条件

再生を停止し、ディスクトレイカバーを開くと、停止した箇所がラストメモリーに記録できます。

ラストメモリー機能が有効なディスクは以下の通りです。

- ・ BDMV
- ・ DVD-VIDEO
- ・ 音楽 CD

- 上記のディスクであっても、ラストメモリー機能が正常に動作しない場合があります。
- ラストメモリー機能は 1 件まで設定できます。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

製品本体

- 電源が入らない**
- 専用ACアダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.25)
 - バッテリー残量がなくなっていないか確認してください。(P.26)
- リモコンがきかない**
- 電池の+、-の向きを確認してください。(P.26)
 - 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.26)
 - リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.21)
 - リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
- すべての設定を初期設定に戻したい**
- 設定メニューの「基本設定」「システム設定」から「初期化」を選択し、工場出荷時の設定に戻してください。(P.49)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてから電源コードを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

ディスク再生

- 再生できない**
- 本製品で再生できるディスクが確認してください。(P.15)
 - ディスクのリージョンコードを確認してください。(P.18)
 - 視聴制限が設定されていないか確認してください。(P.49)
 - ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
 - ディスクはラベル面を上正しくセットしてください。
 - ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。
 - 寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1～2時間放置してください。(P.12)
 - 記録型のブルーレイディスクやDVD、CDは記録状態により再生できない場合があります。

録画したDVDディスクが再生できない ●DVDディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。

映像が乱れる ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。

音声言語が切り替えられない ●複数の音声が入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17)
●**音声切替** ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.31)

音声がでない ●音量レベルを確認してください。(P.31)
●スロー再生 / 早送り / 早戻し再生中は音声が出力されません。
●**音声切替** ボタンで切り替えてください。(P.32)
●テレビや映像機器側の音量レベルを確認してください。
●本製品を消音状態にしているか確認してください。
●ケーブルを接続しなおして音声が出力されるか確認してください。
●音声ケーブルが破損していないか確認してください。
●対応していない音声記録されているディスクでは、音声が出力されません。

字幕言語が切り替えられない ●複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.32)
●**字幕切替** ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.31)

字幕がでない ●字幕が「オフ」になっている場合は、**字幕切替** ボタンで切り替えてください。(P.32)

アングルを変えて見ることができない ●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.35)
●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。(P.35)

メディアセンター

動画ファイルや
音楽ファイルが再生
できない

- 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

その他

仕様

ディスプレイ	11.6型ワイドTFT液晶(LED)
ディスプレイ画素数	1366×768ピクセル(16:9)
対応ディスクフォーマット	BDMV / BDAV / AVCHD(1.0) / AVCREC / DVD-VIDEO / DVD-VR (CPRM対応)/CD-DA/データDVD/データCD
対応ディスクタイプ	BD-ROM / BD-R(LTH対応) / BD-R DL / BD-RE DL / DVD-ROM / DVD±R / DVD±R DL / DVD±RW / CD-ROM / CD-R / CD-RW
対応BDプロファイル	1.1(BONUSVIEW) / 2.0(BD-LIVE)
対応音声コーデック	PCM ※HDMI出力時を含む
ラストメモリー機能	最大1件まで記憶 ※設定でラストメモリー機能を「オン」にする必要があります。
対応外部メモリ	SDカード(~2GB) / SDHCカード(~32GB) / USBメモリー(~32GB) ※miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用のアダプタが必要になります。 ※FAT、FAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ対応
対応映像ファイル形式	MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-4 / H.264
対応音声ファイル形式	MP3(64kbps~320kbps) / AAC(64kbps~320kbps)
対応画像ファイル形式	JPEG / GIF / PNG
信号方式	NTSC
映像出力解像度	1080p / 1080i / 720p / 480p / 480i
スピーカー	2chステレオ(2W×2)
搭載端子	USBポート×1、SDカードスロット×1、3.5φヘッドフォンジャック×1、映像入力端子(コ ンポジット映像信号)×1、HDMI出力端子×1、LANポート×1、電源入力端子×1 ※HDMI出力を行う場合は本製品のモニター、スピーカーで視聴することはできません。
電源(ACアダプタ)	入力: AC100V 50/60Hz 出力: DC12V / 2.0A
電源(シガーアダプタ)	入力: DC12V / 2.0A 出力: DC12V / 2.0A ※24V車には対応しません。
消費電力	最大20W
再生時間(バッテリー)	約3時間(BD再生時)
充電時間(バッテリー)	約7時間
動作温度範囲	5℃~40℃
動作湿度範囲	20%~75%(結露なきこと)
外形寸法	290×200×50(mm)
重量	1170g
保証期間	1年間

- 対応ディスクフォーマット・対応ディスクタイプ・対応外部メモリーは、すべてのディスク・外部メモリーやすべての容量に対し、再生を保証するものではありません。
- 対応ファイル形式はすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- バッテリー再生時間・充電時間は目安であり、使用条件やバッテリー状況などの影響で異なります。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00～12:00 / 13:00～17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
- ・お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

テクニカルサポートダイヤル

03-5421-0580

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F

<https://www.green-house.co.jp>

Ver.1.3